

# 令和元年度 技術科 年間指導計画(第1学年)

## 1.教科の目標

・生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

## 2.評価の観点及び趣旨

- ・生活や技術への関心・意欲・態度
- ・生活や技術について関心を持ち、生活を充実向上するために進んで実践しようとしている。
- ・生活を工夫し創造する能力
- ・生活について見直し、課題を見付け、その解決を目指し、自分なりに工夫し創造する。
- ・生活の技能
- ・生活に必要な基礎的な技術を身につけている。

## 知識理解

・生活や技術に関する基礎的な事項や生活と技術とのかかわりについて理解し、知識を身につけている。

学期	月	単元名	配当時間	学習内容	各単元における観点別評価基準 評価資料・評価場面					
					生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活への技能	生活や技能についての知識・理解		
1	4	◎情報に関する技術 タッチタイピング	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータのタッチタイピングを練習する。</li> <li>・ペイントを利用し絵を書く。</li> <li>・材料の特徴</li> <li>・木材の組織を学び、その性質がなぜ生まれるのかを学ぶ</li> <li>・キャビネット図・等角図を書き、図面の書き方について学ぶ</li> </ul>	生活と技術の進歩について考え、工夫することによって、より生活しやすくなることに気づく。	・問題や課題から技術の進歩について学び、学習課題が達成できる方法を考える。	課題解決のために、必要な学習計画を立てる。	木材の構造やその性質・特徴を理解している。		
	5	◎材料に関する技術 材料について			生活しやすくなることに気づく。	・生物育成の条件を理解し、工夫して作物を栽培している。	図面を正確に書いているか。	基本的な工具・機器のしくみと使用方法を身につけている。	基本的な栽培技術を理解し、栽培計画を立て実践することが出来る。	・作物の適した生育条件を理解している。
	6	材料と加工について 木材の特徴など			・生物を育てる技術が私たちの生活にどのようにかかわっているかに興味を持ち、進んで調べようとしている	・生物育成の条件を理解し、工夫して作物を栽培している。	・基本的な栽培技術を理解し、栽培計画を立て実践することが出来る。	・作物の適した生育条件を理解している。	・作物に必要な養分や土の構造、植物の体の働きについて理解している	
	7				評価の資料	評価の資料	評価の資料	評価の資料		
					・授業中の活動の観察	・実技テスト ・ノート	・実技テスト ・ノート	・定期テスト		
					・プリント	・作品 ・補助教材	・作品 ・補助教材	・小テスト		
					・ワークシート	・栽培計画表など	・栽培記録表 など	・ノートなど		
2	9	◎材料に関する技術 デスクトップホルダの製作	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>機械・工具の機能及び使用方法（のこぎりの使い方・かんなの使い方）</li> <li>カセットラックの製作</li> <li>設計図を書く</li> <li>けがき</li> <li>切断</li> <li>部品加工</li> <li>組み立て</li> <li>組み立てのためのけがき</li> <li>下穴あけ</li> <li>釘打ち</li> <li>仕上げ（素地みがき）</li> </ul>	材料の性質を利用して、各部品の組み合わせを考えている。	作品の精度を高めるために道具や機器の使い方を考え、工夫している。	作品の材料や形状に応じて、適切な道具を選択し、使用することができる。	材料に適した、加工技術に関する知識と基本的な使い方を理解している。		
	10	・材料の確認			機能や丈夫な構造について考え、製作に取り組んでいる。					
	11	・設計								
	12	・のこぎり・かんなの練習								
					評価の資料	評価の資料	評価の資料	評価の資料		
					・授業中の活動の観察	・実技テスト	・実技テスト	・定期テスト		
					・プリント	・ノート	・ノート	・ノート		
					・実習の記録	・作品 ・補助教材	・作品 ・補助教材	・小テスト		
3	1		8	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料の性質を利用して、各部品の組み合わせを考えている。</li> <li>機能や丈夫な構造について考え、製作に取り組んでいる。</li> </ul>	材料の性質を利用して、各部品の組み合わせを考えている。	作品の精度を高めるために道具や機器の使い方を考え、工夫している。	作品の材料や形状に応じて、適切な道具を選択し、使用することができる。	材料に適した、加工技術に関する知識と基本的な使い方を理解している。		
	2									
	3									
					評価の資料	評価の資料	評価の資料	評価の資料		
					・授業中の活動の観察	・実技テスト	・実技テスト	・定期テスト		
					・プリント	・ノート	・ノート	・ノート		
						・作品 ・補助教材	・作品 ・補助教材	・小テスト		
配当時数			35							